

3 大規模肥育経営の技術水準と経営展開 (畜試 経営部)

農家調査から肥育経営の生産コストの低減には、1日当たり増体量を高めることが有効であること(D.G0.1アップでB種約35,000円、乳雄約20,000円コスト低減)が判明した。

(1) 背景と特徴

大規模肥育経営(100頭以上)は、投資額が大きいことから、畜舎などの固定資本はもちろん、素牛飼料などの流動資本までも借入金に依存した経営が大部分を占めている。

このことから、最近における素牛、濃厚飼料価格の上昇は、金利負担を増大させ経営不安定化を増々助長しており、コスト管理が重要となっている。

そこで、ここでは農家調査結果をもとに、技術水準が生産コストに及ぼす影響を明らかにするとともに、経営の展開方向について検討したので参考に供する。

(2) 技術内容

- 1) 生産コストは、1日当たり増体量による影響が大きい。畜舎、農機具への投資による影響は調査結果からみるかぎり、1頭当たり借入金利子で10,000円程度であり小さい。したがって生産コストの低減には、1日当たり増体量を高めることが有効である。(図1.2表2)
- 2) 1日当たり増体量を0.1kg向上させれば、1頭当たり黒毛和種で約35,000円、乳雄育成肥育で約20,000円程度の生産コストの低減が可能である。
- 3) 乳雄育成肥育では、枝肉価格差が小さいことから、特に1日当たり増体量を高めることが重要であり、現行の価格水準では1.1kg以上を確保する必要がある。(図2)
- 4) 乳雄育成肥育での事故率が生産コストに及ぼす影響をみると、事故率が高くなればそれだけ生産コストは増加する。しかし、1日当たり増体重を高めることによって、わずかではあるが低減される。(図3)
- 5) 黒毛和種では、上物率の向上による販売価格の向上をねらった長期肥育が一般的であるが、上物率のちがいによる価格差は小さいということに注意する必要がある。(図4)昭和55年の東京市場の価格で試算すると、上物率を20%から50%に上げた場合の販売価格の上昇額は、1日当たり増体量を0.1kg向上させたときの生産コストの節減額に相当する。
したがって、大規模経営で群飼いという条件下では、1日当たり増体量を高めてコストの節減をはかることが重要と考えられる。
- 6) 黒毛和種の収益性向上のためには、販売価格の向上、コスト低減の2つの方法があるが、肥育目標に合わせた素牛および肥育技術の選択と技術管理の徹底が重要である。

(3) 指導上の留意点

1日当たり増体量のちがいによる生産コストは、農家調査結果をもとにした試算値であり、対象経営の技術係数を確認しつつ指導する必要がある。

(4) 関連試験課題名 大規模肥育経営の実態と問題点(55年)

(5) 主要成果の具体的図表

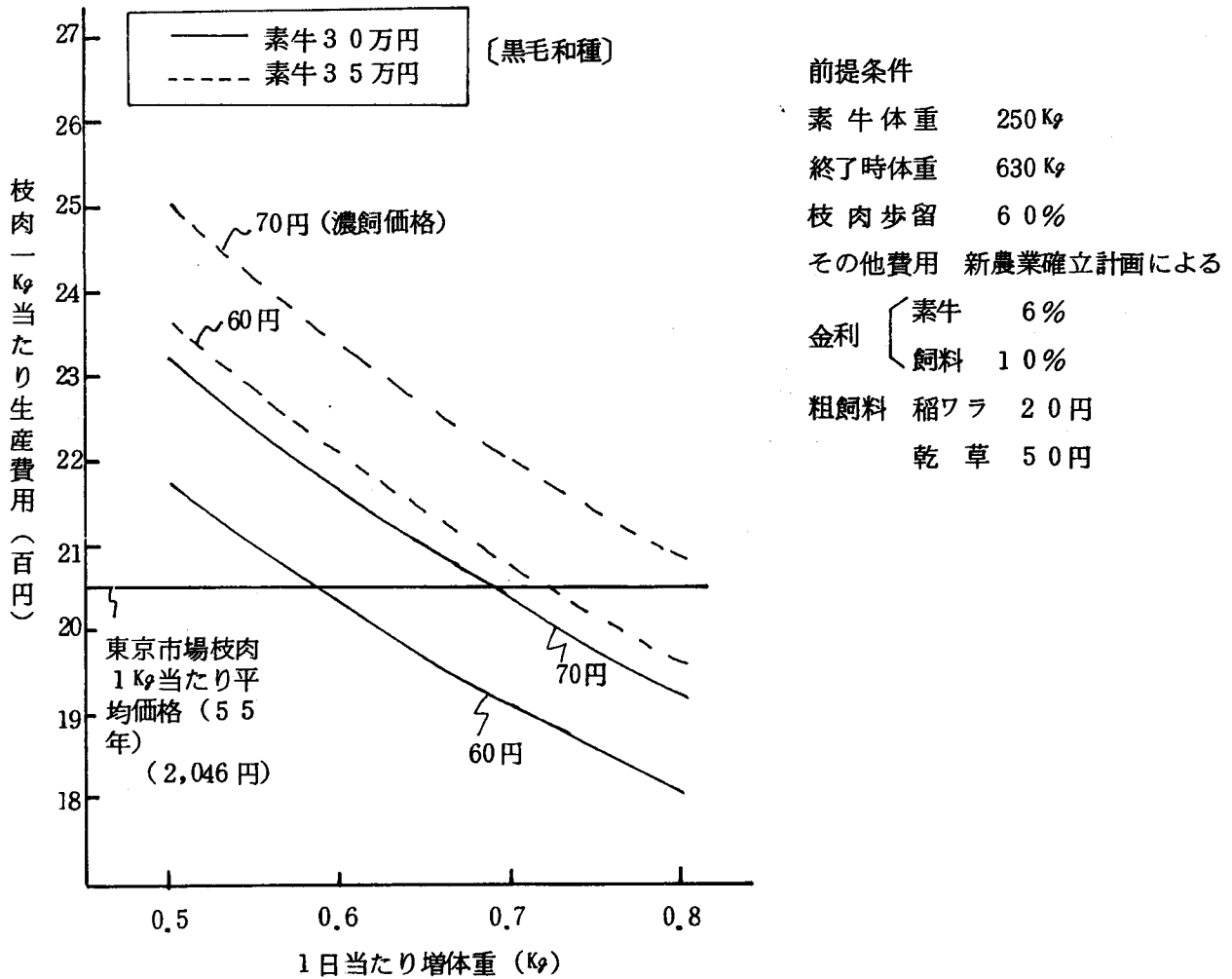


図1 1日当たり増体量と枝肉1kgあたり生産費用

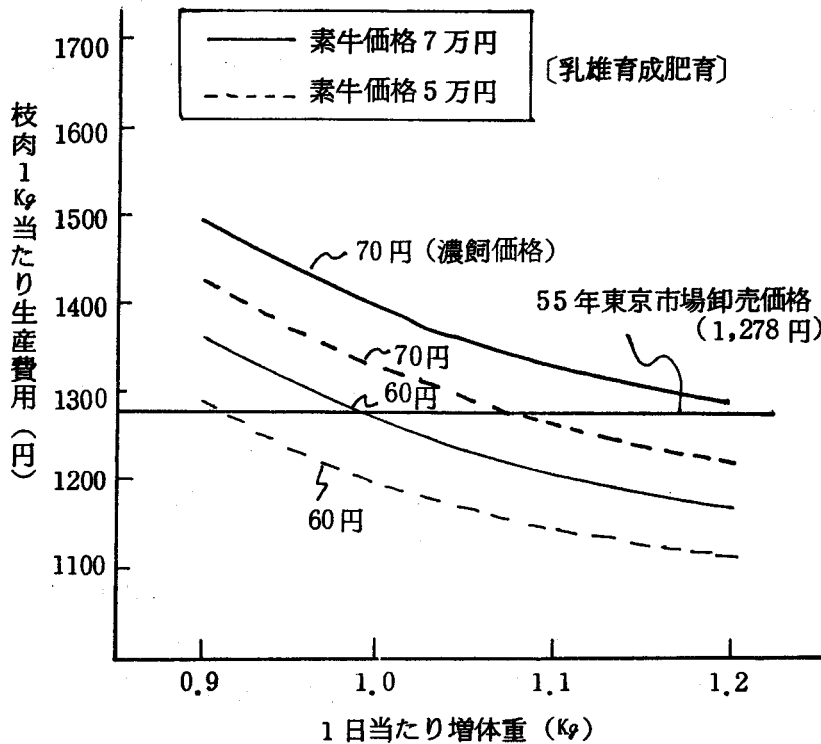


図2 1日当たり増体量と枝肉1kg当たり生産費用

前提条件

素牛体重 50kg

終了時体重 650kg

枝肉歩留 57%

その他費用 新農業確立計画による

金利 { 素牛 8%
飼料 10%

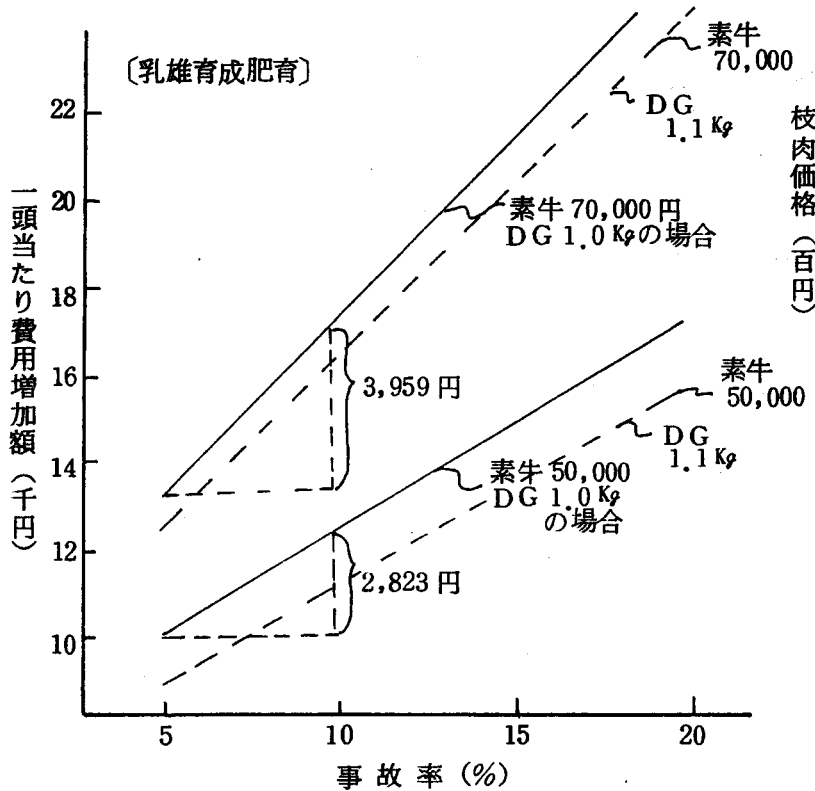


図3 事故率と1頭当たり費用増加額

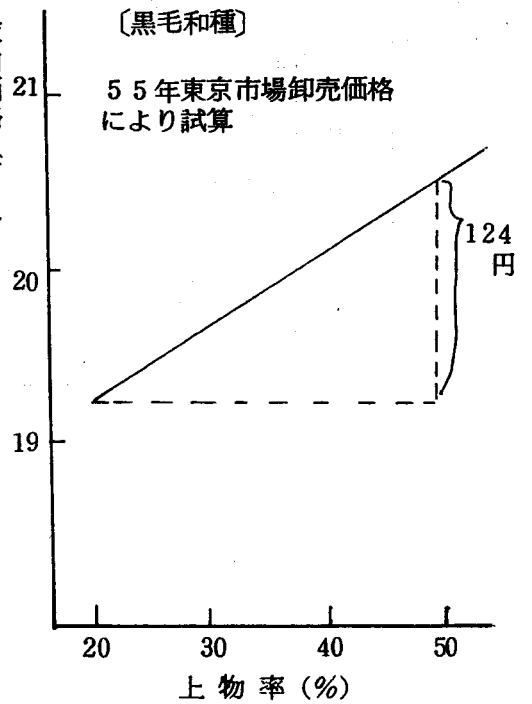


図4 上物率と枝肉価格

表1 肥育方式と技術水準

項目		黒毛和種			乳雄育成肥育	
		1	2	3	4	5
導入時体重		244	251	273	53	50
出荷時体重		623	608	641	653	66.5
肥育日数		586	700	632	588	564
D G		0.648	0.516	0.596	1.020	1.090
事故率		6.8	5.3	5.7	20.3	0
肥育回転率		0.59	0.52	0.58	0.62	0.65
飼料要求率 D M		12.7	13.7	14.9	6.6	6.3
〃 TDN		9.5	10.9	10.8	5.2	5.0
上物率		63.8	32.2			
枝肉単価		2,089	1,905	1,905	1,384	1,250
管理方式	飼料給与	1日2回 制限給餌	1日2回 制限給餌	1日2回 制限給餌	不断給餌	不断給餌
	飼養方式	群飼	群飼	群飼	群飼	群飼
	糞尿処理	オガ屑	オガ屑	スノコ	オガ屑	オガ屑

表2 創業時における資金調達

項目		黒毛和種			乳雄育成肥育	
		1	2	3	4	5
常時飼養頭数		84頭	195頭	89頭	198頭	84頭
投資額	建物	14,800,000	66,635,755	16,676,694	23,660,000	17,721,020
	農機具	3,230,000	5,685,413	6,911,854	3,240,000	4,844,000
	計	18,030,000	72,321,168	23,588,548	26,900,000	22,565,020
調達方法	補助金	11,192,500	39,620,675	13,131,265		
	制度資金		31,290,000		20,660,000	4,500,000
	農機短期 自己資金	6,837,500	1,410,693	5,457,283	3,500,000 2,740,000	8,000,000 10,065,020
1頭当たり投資額	投資額 補助圧縮	214,643 (81,399)	370,878 (167,695)	265,040 (117,497)	135,859 (//)	268,631
1頭当たり年間借入金利息		0	5,054	5,618	3,232	6,101
※1頭当たり借入金利息		0	(9,719)	(9,686)	(5,213)	(9,386)
素牛調達	農協預託	30%	100%	100%	100%	50%
	自己所有	70%				50%
生産資材調達		農協	農協	農協	農協	農協

注 ※ 1頭当たり借入金利息 = 1頭当たり年間借入金利息 ÷ 肥育回転率